

表 「カーボンピークアウト、カーボンニュートラル戦略とロードマップ」の主な内容

【8大戦略】

1	節約優先戦略：省エネを第一のエネルギー理念とし、社会全体のエネルギー使用効率を絶えず向上させる。
2	エネルギー安全戦略：化石エネルギーの供給に対する応急措置をしっかりと実施し、新エネルギーの供給不安定性に適切に対応し、石油・ガス及び重要な鉱物の対外依存リスクを防止する。
3	非化石エネルギー代替戦略：伝統エネルギーを、安全で信頼性における新エネルギーに徐々に代替し、非化石エネルギーの比重を絶えず高めていく。
4	再電氣化戦略：電氣エネルギーの代替と発電燃料の発展を重点とし、重点部門の電氣化レベルを大きく上昇させる。
5	資源循環利用戦略：伝統的な産業のレベルアップと業務プロセスの再構築を加速させ、資源の多段階循環利用を実現する。
6	炭素固定戦略：生態による炭素吸収と人工炭素結合を堅持し、生態系の炭素固定能力を強化し、炭素除去技術の研究開発を推進する。
7	デジタル化戦略：デジタル化による炭素削減と炭素管理を全面的に推進し、生産・生活のグリーン変革をサポートする。
8	国際協力戦略：人類運命共同体を構築する大国としての責任を負い、国際協力の深化にさらに力を入れる。

【7つの道のり】

1	経済発展の質と利益を向上させ、産業構造の最適化とアップグレードを重要な手段として経済発展と炭素排出のデカップリングを実現する。
2	クリーン、低炭素、安全かつ効率的なエネルギーシステムを構築することは、カーボンピークアウトとニュートラルを実現する鍵と基礎である。
3	新エネルギーを主体とする新型電力システムの構築を加速させ、電力業界のゼロ排出を安全かつ安定的に実現する。
4	電氣化とより深い脱炭素技術を支えとして、工業部門における秩序あるピークアウトと漸進的なニュートラルを推進する。
5	高い割合の電氣化を通じて交通機関の低炭素転換を実現し、交通部門のカーボンピークアウト、ニュートラルの実現を推進する。
6	グリーン建築のコア技術分野でのブレークスルーを実現することを重点とし、建築物の電氣、熱利用における炭素排出ゼロを実現する。
7	カーボンニュートラルの「ラストワンマイル」を実現するべく、炭素除去基盤に関わる技術的な保障を整える。

【3つの提案】

1	戦略を立て、統一的な調整をしっかりと行い、経済社会の秩序ある運営とエネルギー資源の供給安全を保障する前提の下、全国の「一体性」を堅持し、段階的に秩序正しくカーボンピークアウト、ニュートラルの実現を推進する。
2	科学技術の革新を強化し、カーボンピークアウトとニュートラルを実現するために強大な推進力を提供し、特にコアとなる技術の重大なブレークスルーを基盤としながら、カーボンニュートラルを実現しなければならない。
3	制度と政策体系を確立、完備させ、カーボンピークアウトとニュートラルの任務実施を確保する。炭素排出総量制御制度の確立を加速させ、汚染削減と炭素削減の一体計画、一体推進、一体考課のメカニズムの構築を加速させ、能力的なサポートと監督管理システムの建設を絶えず改善する。

(出所) 関連報道を基にジェットロ作成